

平成28年度経営の基本的事項

元総社公民館

1 経営のねらい

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

2 本年度の重点施策

今年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 市民生活と学習

住民の暮らしの中の身近な課題から、より幅広い学習文化活動を展開し、魅力のある学習を進めていく。

① 本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区であり、潜在的に子育てに困っている親が多い。そのため乳幼児を持つ親を対象に家庭教育学級を開催し、子どもの発達、健康、遊びなどの基本的知識と子育て中の実践力を養う講座とすると共に、参加した親同志で情報交換したりしながら、仲間づくりをする中で不安感、孤独感の解消を図ることを目的とする。また、隣接の東公民館と共催し、予算の有効活用と事務処理の効率化を図るとともに、地区の枠を越えた参加者同士の交流を始め、託児ボランティアの連携と交流の機会とする。

昨年度に引き続き、地区内住民を対象とした子育て支援ボランティア講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に図っていく。

② 社会の高齢化に対応するため、講座を開催し高齢者同志のコミュニケーションを高め、健康で生きがいのある高齢社会づくりを目標に参加者が学んだことを地域で実践し、地域に貢献できる乎度を目指す。

(2) 地域づくり事業の推進

地域における住民交流や支えあい、自主・自立性の強化を図りながら、誰もが安全安心に暮らせ、郷土愛着を醸成する歴史伝統・文化の継承など、多面での地域づくりを進めていく。

① 歴史伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定。

【予定】地域づくり講座

(ア) 「ぐんまの伝統食を楽しむ会」(11月中旬～：全4回)

② 地区防災訓練に関して、地区内住民の防災意識高揚をより広く図るため、例年同様、地域全体での大規模な防災訓練を実施するとともに、平成26年2月大雪の経験を忘れず、各自治会内防災コミュニティの重要性の認識を醸成し、各自治会単位での災害対応力強化を図るため、各町単位での防災対策事業等を支援していく。

(3) 青少年教育活動と指導者養成

関係団体等との連携での様々な事業支援を行い、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を通して、少年期の健全なる心身の発達を図る。

また、青少年が地域活動に自主的に参加できるよう指導者養成や、地域拠点づくりの整備を推進する。

それとともに、今年度は、住民一人ひとりが地域で子育てすることの意義を改めて自覚してもらえよう地域づくり講座で公開講座を開催し、団体活動へのモチベーションを高めることを推進する。

さらに、子どもの情操や社会性を培う事業や地域に対する愛着を深める事業を実施し青少年の健全育成を図る。具体的には幼少期から少年期にかけて児童・親子を対象とした「プレイルーム元総社」や「少年教室」を開催する。

(4) ボランティア養成

元総社ボランティア連絡会の協力事業である「プレイルーム元総社」などの事業を通して、ボランティア活動の重要性を周知し、その養成を行うと共に、それらの協力を得ながら活動の推進を図る。

(5) 情報提供による住民意識の向上及び地域のイメージアップ

学習文化情報、地域社会情報など幅広い範囲にわたっての情報を地域の住民に分かりやすく提供し、生涯学習や地域活動への関心を深め、各種事業への参加を促進する。

また、ホームページやフェイスブックなどのウェブツールを活用して地域内情報を広く発信することにより、市内外に対しての、本地域のイメージアップを図っていく。

(6) 地域の交流・活性化を図る文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体と連携し様々な出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流・活性化を図る。

3 重点施策実施上の留意点

- (1) 住民の学習要求、社会事情などを把握し、事業の効果を高め学習文化活動への参加を促進する。
- (2) 学級、講座の内容を創意工夫して、より魅力のあるものにし、親も安心して学習できるように託児保育を実施し事業効果を高める。
- (3) 住民の学習意識意欲の向上を促し、文化的な生活を継続・推進するため、公民館事業を広くPRする。